

## ～タイトル～

「教員基礎」の第5回目が実施されました。

## ～本文～

北海道教育大学では、高等学校段階から教員の仕事を理解し、教員になるための素養を高めるとともに意欲の高揚を図る「みらいの教員育成プログラム（前半：『教員基礎』、後半『教員基礎探究』）」を北海道教育委員会と連携して実施しています。

第5回目では、大学の講義室にて、「教職の魅力」や「子どもたち同士/子どもと教師の信頼関係の築き方」などについて考え、次回の若手教員との交流に向けた準備をしました。以下、11/3（金）の活動内容をご紹介します。

### 【玉井副学長による講義】

1時間目は、本学の玉井康之副学長が「教職の魅力～皆さんは将来どんな先生を目指しますか？～」をテーマに講義を担当しました。「いい先生の特徴」について、高校生はこれまでの被教育経験や本プログラム内で実施した学校実習での観察を踏まえて回答している様子が見られました（写真1）。あるグループでは、「授業がわかりやすい先生」「授業が楽しい先生」「子どもに親身な先生」など、直近の学校実習で見た「いい先生」を事例に議論を展開しており、本プログラム内での「理論と実践の往還」がなされている様子も伺うことができました。

玉井副学長からは、教育的愛情やコミュニケーション能力など、北海道教育委員会が策定する「教員育成指標」（2023年3月改訂版）を参照しながら、それぞれが特に大事にしたい資質・能力を高められるように、本プログラムで引き続き活発な姿を期待するとの激励の言葉が寄せられました。

### 【演習活動】

2時間目から3時間目にかけては、本プログラム担当教員の星裕准教授が「子どもたち同士/子どもと教師の信頼関係の築き方」をテーマに講義を担当しました。改訂された生徒指導提要进行を確認し、生徒指導が「自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動」であることを共有しました。また、実践上の視点として「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」の4つが挙げられていることを確認しました。

以上の講義内容を踏まえて、【演習1】では「子どもたちのつながりを築き、信頼関係を深めるための活動」（写真2）、【演習2】では「朝の会」「帰りの会」のプログラム（写真3）を構想しました。

また、学校実習でのエピソードを交流し（写真4）、【演習3】として「実習では見聞きできなかった疑問点」（写真5）をリストアップしました。これらの疑問点は、次回、Zoomを用いて阿寒湖義務教育学校の若手教員へ質問します。

以上が第5回目の概要です。今後も、釧路校での「みらいの教員育成プログラム」に関する実施報告をして参りますので、ぜひご注目ください。

（写真撮影・文責：玉井慎也）

**【11/3 (金) の活動写真】(顔・氏名などの個人情報に関するマスク処理済)**

写真1：玉井副学長による講義

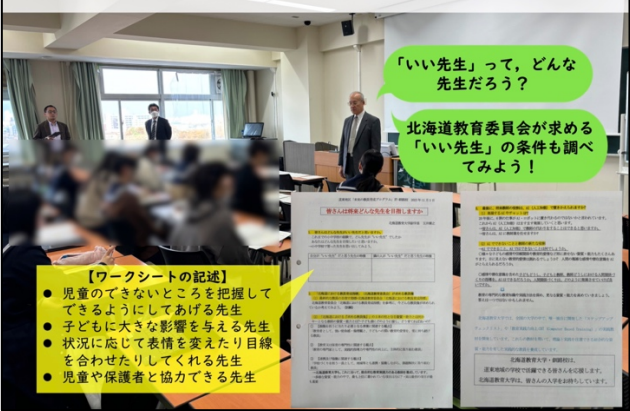


写真2：【演習1】子どもたちのつながりを築き、信頼関係を深めるための活動を構想しよう！

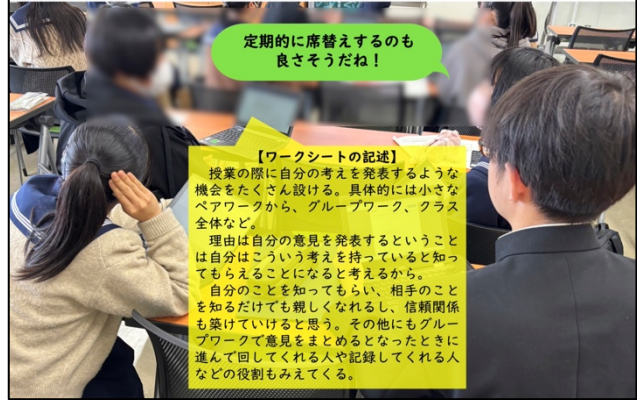


写真3：【演習2】「朝の会」「帰りの会」のプログラムを作成しよう！

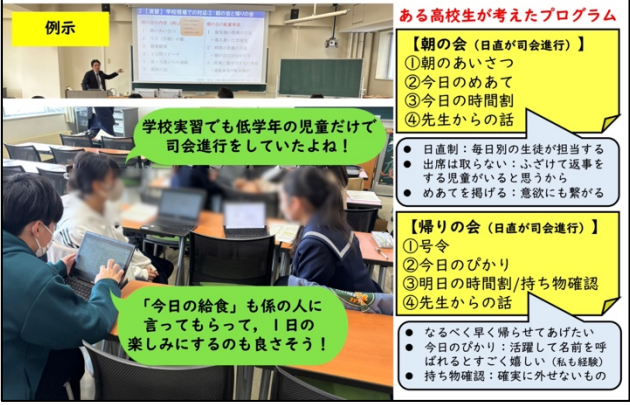


写真4：学校実習のエピソード交流

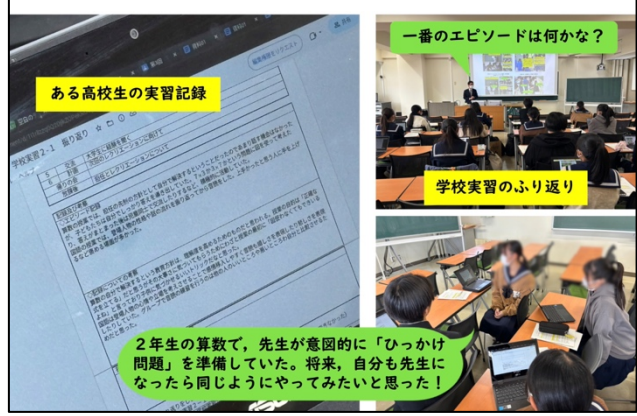


写真5：【演習3】若手教員への質問を考えよう！

